

座標: 北緯40度33分29秒 東経139度57分58秒

ウィキペディア

日本キャニオン

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

日本キャニオン（にほんキャニオン、にっぽんキャニオン）は、青森県西津軽郡深浦町松神にある景勝地である。浸食崩壊によって凝灰岩の白い岩肌がむき出しになった^[1] ダイナミックなU字谷大断崖で、アメリカ合衆国のグランドキャニオンにヒントを得て命名された。

世界遺産白神山地の日本海側にあり、津軽国定公園域に位置するが「白神山地世界遺産地域」には入っていない。



日本キャニオン



日本キャニオン・谷底

目次

- 概要
- 周辺情報
- 脚注
- 参考文献
- 関連項目
- 外部リンク

概要

1953年（昭和28年）10月22日、十二湖が県立自然公園に指定された際に訪れた国立公園審議委員の探検家・岸衛（きしまもる）が、アメリカ合衆国コロラド高原グランドキャニオンと対比し「なーんだ、ベビーキャニオンじゃないか」と言ったことから、岩崎村役場でさっそく「日本キャニオン」と命名したのが由来である。

昔は地元の人から「日暮山」と呼ばれていた。大町桂月も日暮山の眺望と詠んでいる。今も濁川に「日暮橋」があることからもうなずける。「日暮らし」とは眺望が優れた場所を意味する。白神山地には「ひぐらしの滝」、十二湖には「日暮しの池」や「日暮橋」があり、眺望の美しさに日が暮れるのを忘れたという言い伝えから命名された。

日本キャニオンの成因については、十二湖の成因も含めて氷河の名残ではないかとする説もある^[2]。これは、昭和7年に荒川謙治が発表したもので、当時学会でも話題になった。



谷底から崖を見上げる

遠方からでもはっきり認識できる白い山肌は、沖合いを航行する船舶からの目標にもなっている。

周辺情報

- [JR東日本五能線十二湖駅](#) ([青森県道280号十二湖公園線](#)経由)
- [十二湖](#) (青池等)

脚注

- ↑ “[日本キャニオン \(http://fukadoko.jp/spot-4-14/index.html\)](http://fukadoko.jp/spot-4-14/index.html)”。[深浦ってどこ? 青森県深浦町観光公式サイト](#). 深浦町. 2019年5月5日閲覧。
- ↑ 荒川謙治「[津軽十二湖附近の氷河遺跡に就て\(豫報\) \(2\)](https://www.jstage.jst.go.jp/article/ganko1929/10/6/10_6_270/_article/-char/ja/) (https://www.jstage.jst.go.jp/article/ganko1929/10/6/10_6_270/_article/-char/ja/)」『[岩石礦物礦床學](#)』第6巻第10号、日本鉱物科学会、1933年12月。

参考文献

- 『[白神の山旅 -登山道と植物群-](#)』、西田正司

関連項目

- [地質学](#)

外部リンク

- [日本キャニオン \(http://www.aptinet.jp/Detail_display_00000074.html\)](http://www.aptinet.jp/Detail_display_00000074.html) - 青森県観光情報サイト [アプティネット](#)
- [日本キャニオン \(http://fukadoko.jp/spot-4-14/index.html\)](http://fukadoko.jp/spot-4-14/index.html) - 深浦ってどこ? 青森県深浦町観光公式サイト

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=日本キャニオン&oldid=72639664>」から取得

最終更新 2019年5月5日 (日) 12:18 (日時は個人設定で未設定ならばUTC)。

テキストは[クリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンス](#)の下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。